

先週末までのマーケット動向(2月21日～2月25日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,197.6	1,206.0	1,189.9	1,201.6	+5.7
JPY/KRW	10.4175	10.5027	10.3414	10.4278	+0.045
KOSPI	2,706.65	2,746.62	2,642.63	2,676.76	▲67.76

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。週明けは節目の1,200ウォンを意識した輸出企業のドル売りで上値が重い展開の中、バイデン米大統領がプーチン露大統領との首脳会談に原則合意したとの報道もドル/ウォンの下落に拍車をかけた。その後はウクライナ情勢を睨んだ比較的小さいレンジでの推移となっていたものの、24日正午直前にロシアがウクライナに対しミサイルを発射したとの報道に加え、ロシア軍の全面的な侵攻が報道されるとドル/ウォンは急伸。本来24日とされていた米露首脳会談についても白紙となり、節目の1,200ウォンを上抜けた。週末にかけては有事のドル買いと月末の実需のウォン買いでもみ合う展開となり、結局ドル/ウォンは先週末対比5.7ウォン下落した1,201.6ウォンにてクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや底堅い展開を予想する。週末には、当初予定されていなかった欧米各国によるSWIFTシステムからのロシア除外の方針が固められ、プーチン露大統領は経済制裁強化を受けて核戦力を含む核抑止部隊を警戒態勢に置くように指示するなど急展開を見せており、週明けから神経質な相場が継続するであろう。停戦協議への不透明感が続く中、週末の一連の動きを受けて一旦は有事のドル買い相場となり、その後もロシアのウクライナ侵攻を巡るヘッドラインに振られる展開となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1190 ~ 1215	10.25 ~ 10.50	114.5 ~ 116.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 28日(月) 日 1月 鉱工業指数 速報値
- 1日(火) 欧 2月 製造業PMI 確報値
- 米 2月 製造業PMI 確報値
- 中 2月 製造業PMI
- 中 2月 非製造業PMI
- 米 2月 ISM製造業景況指数
- 2日(水) 米 2月 ADP雇用統計
- 3日(木) 欧 2月 サービス業PMI 確報値
- 米 2月 サービス業PMI 確報値
- 米 1月 製造業受注
- 米 2月 ISM非製造業景況指数
- 中 2月 総合PMI
- 中 2月 サービス業PMI
- 韓 4Q GDP 速報値
- 4日(金) 日 1月 失業率
- 韓 2月 CPI
- 米 2月 非農業部門雇用者数
- 米 2月 失業率